派ル遣パ

にて除雪ヘルパー派遣事

行政として後押し出

莱

この

度

3月の町広報

事業 1

の 件 般質問 阿部 和則

雪対策~まずは町民との対話から

町長:総合的除雪体制を構築していく

る。 移している。 除雪へ 阿部

利用者はこの5年間 は630万円であ 今年度の事業予算

などして、

周知方法も再

広報紙面への掲載をする

業を掲載したが、

今後も

度検討していく。

約200世帯で推

から、 割強である。 約2000世帯だ られる総世帯数は この事業を受け 利用率は1

がわからない人が 仲介する民生委員 第一、申し込みを 足は解消されない。 あったが、 この制度の紹介が ぐらいでは周知不 3月の広報紙で 広報紙

除雪ボランティア

うがいかがか。 沢山いる。 配付する必要があると思 して、制度の案内を全戸 町内会を利用するなど

除雪ボランティア

員の方々に毎年10月に対 の性格上、 情を把握している民生委 申請方法は、 制度の周知方法や 対象世帯の実 制度

> 町内会の先進的な取り組 みが始まっている。 されていたが琴和 3月号広報に紹介

サービスを行っている。 ずつ7グループで除雪 町内会にも広がりつつあ しかも少しずつだが他の 人が登録し、月1回5人 除雪ボランティアに35

把

請してもらっている。 象者の調査をお願いし申

> 町民との対話から、私は 合ったらどうか。 雪をメインテーマに据え 新幹線でも厚生病院でも 町民の一番の関心事は、 る事はないのか。 えているのか。 の町民との対話をどう考 るためのプロセスとして 総合雪対策とは、解決す そう思うが町長の考える てトコトン町民と話 ゴミ問題でもない。 前に地域懇談会があるが 「雪」である。 雪問題、その入り口は 今年の地域懇談会は また、今年も雪の降る

た。 組み」を町広報で紹介し 除雪ボランティアの取り 除雪隊の皆さんは、除 町長 雪隊 琴和町内会

ている。 の状況把握にも努められ 必ず声をかけて、各家庭 雪の必要がない場合でも 方々によるボランティア こうした地域の実情を 握している町内会の えていきたい。

機動性もあり、 というものである。 の活動は、 私も町内会連合会会議

などでぜひ取り上げて訴

琴和町内会の活動に対 こうした活動に対 町内会

除雪ボランティア

一琴和ちょぼら除

の安否確認にもつながる 効率性が高く 対象世帯

けでなく、

しては、

保険料の負担だ 今後関係者の

交付金に含めて支援して 保険料相当額を、 動保険に加入した場合の しては、ボランティア活

勢もあり、

していきたい。 見習って、

体制の構築を 今後これらを 単位とした総合的除雪態町内会、町内会や職域を

ティアを行っている琴和

検討していく。

本町には、

除雪ボラン

資材の購入費等の支援 意見を聞きながら、

島 議員 件 般質 の

協定交渉参加阻止 団体が一 関連 体となっ た運動を

町長:国民合意のないままのTPP協定に参加しないよう取り組む

ている。

交渉参加が取りざたされ に日米首脳会談が行われ、 とされている。2月22日 ての影響が9859億円

について町長の決意を伺 一体となった運動の強化 町・議会・関連団体が

として、 位置付けされている本町 ②農業が基幹産業として いて、一歩踏み込んだ農 地すべり対策の予算につ 慮が必要である。 てる独自の予算策定の配 また、大和原種圃場の 担い手が夢を持

参加、 国民合意のないまま関税 と一体となってTPPに く求めてきたが、 しないよう政府に強 まで、農業団体等 ①本町としてこれ 今後も

> ている。 の参加及び開催を支援し 青年活動や学習、 づくりのため、農業後継 者対策協議会を核として えていく担い手が安心し ②農業を将来にわたり支 取り組みに関わって行く。 協定には参加しないよう 撤廃を原則とするTPP て農業に取り組める環境 講演会

> > ボール協会関係者と協議

して検討していく。

ときには、

地

元ソフト

ることから改正を行った 際規定改正を保留してい

の中でも地域経済に対し 円と試算されており、そ 連分野で2兆1000億

影響については、

、農業関

の北海道における ①TPP協定交渉

ことから、積極的に取り し、 ざまな施策が実施される 業マスタープランを策定 また、 農地集積などにさま 本町でも地域農

から、

もう少し様子を見

しか経過していないこと コースへの増設から1年

組んでいきたい。

振興施策スポーツ

ール球場

は現在、 程度の料金値下げ けて1日100円 利用者の増加に向 ②パークゴルフ場 を含めた料金体系 で開設されている。 修計画は。 ンド」の今後の改 「きたろくグラウ 改定は。 4コース



組みが必要である。

町長の農業振興に対す

業振興対策としての取り

る考えを伺う。

ソフトボール球場「きたろくグラウンド」

国の補助制度を活用しな 期に方針を示したい。 行った上で、 現可能かどうか協議する。 がら補強工事により進め たいと考えている。 要望があったので、 体育館棟の活用につい 役場庁舎の耐震化は、 先の子ども議会で 実

町長

①現在、

日本ソ

トボール協会が

国

(, に対応しなければならな 危険施設と診断され早急

シーズン券の要望がある ②愛好者から値下げ

東陵中学校校舎を役場

ちをどう身につけるか、

本町として道徳教育をど

起きており、いのちの大

特にいじめによる自殺が で規定されており、

切さや人を思いやる気持

B

ことは聞いているが、

4

の声もある。 の室内練習場での利用と 育団体への開放や合宿で の提言や体育館棟は、 庁舎として利用してはと

のか、また「こころの教のように取り組んでいる

育」について、どう考え

ているのか見解を伺う。

見解を伺う。 用計画について、

題の整理を進めていく。 町長 施設の運営方法、 まずは公共施設と しての活用を視野 課

用も視野に入れながら早 これらの課題の整理を その他の活

組んでいる。

もたちの豊かな心を育む域の連携を大切に、子ど 教育を進めていく。 今後も学校・家庭・地

跡利用計画は東陵中学校校舎の

三島

道徳教育につい

は、

学習指導要領

道徳教育の充実

耐震診断結果では 先般の役場庁舎の

東陵中学校校舎の跡利 町長の 体

るものである。 ての教育活動の基礎とな もないが、心の教育は全 とが大切なのは言うまで 、ランスよく育成するこ は、 学校教育において 知・徳・体を

とで、健やかに心豊かな な恵まれた教育環境のも という思いを込めて取 子供たちがこの自然豊 人として成長してほし 教育委員会としては、 0 41

件 般質問 義照 3 の 森下

冬期間の通学歩道の確保を

町長:関係機関と連携し、安全確保を図る

対策を講じて児童生徒の 安全確保に努める。 除排雪をするなど、安全 集に努め、 通学路危険箇所の情報収 本町としても、 実態に合った 冬道の

残っている。 要な道路がいまだ多く 行者の交通安全対策が必 対策を講じているが、歩 や交通安全旗の設置等の 点検を実施し、啓発看板 学校の通学路の緊急合同 さらに、冬期間の通学 関が連携し、 本町では、 関係機 小中

学校が児童生徒に対し登 路確保については、各小 下校時の危険場所や冬道 安全指導の周知を行って 処理が行われる予定だが を持つ町村があると聞く。 この民間委託方式に懸念 民設民営方式によりごみ 広域ごみ処理問題 たな固形燃料化・ 平成27年度から新

②山麓7カ町村の合意が ①今後の対応は。 ない場合どうするのか。

の 通

問わず安心安全に歩行で

や恐怖感を与えているこ

通学生や歩行者に危険

とをよく精査し、夏・冬

きるよう対策をとるべき

期間降雪により歩道が通

路に歩道がない所や、冬

高校2校があるが、通学

5校、中学校1校

本町には、

れない所がある。

町長 ①当初の予定より

らい協議会で決定したい。 わなかったとしても、 事務時に調整・協議が整 ②平成25年度の業者選定 月中に町村合意をしても を進める予定なので、3 民設民営業者の選定事務 るため、平成25年度から 成27年3月までに町村内 成27年4月に間に合わせ 遅れているが、 平.

と推定された。

から出ている。 深さ約25メートル えうる支持層が、 さに十分耐 ①建物の重



学校給食センター

の合意を得られれば間に せるわけにはいかないの 本町のごみ処理を滞ら

務を進める。 先行して業者選定事

移設改築事業学校給食センター

考えている。

ら新施設へ移動したいと

同年夏休み明け

月に着工、平成27年7月

早ければ平成26年4

③建物と内部装備品の概 ケジュール。 ②給食センター移転のス ①土質調査の結果と実施 設計に取り掛かる時期。 改築業務について伺う。 食センターの移設 老朽化した学校給

費が約9億1400万円、 や所管委員会に報告する がまとまり次第、 をしているが、基本計画 5700万円程度の試算 調理機器設備費が約3億 概算経費として本体工事 積1470平方メートル、 ③建物面積は、 予定で取り組んでいる。 延べ 町部局 床 ②新年度の実施設計を終 委託契約締結と考えて

風水害対策、

地震対策、

国の平成24年度大

新政権による日本

転換推進事業施肥体系



鈴木 芳幸 件の 議員

国道 393 号線メープル街道の安全対策 防雪柵の設置予定は

るのか。

れるのか。れば、地域説明会が開か

②工事着手時には、

||柵設置工事である。

る。

町長:国で600mの工事を予定



国道 393 号線 防雪柵設置予定箇所

や助成額の増額 協と協議し、 などを検討する 用しやすい体系

できない。 モを守ることが ランド品男爵イ では我が町のブ チュウ対策だけ 見解を伺う 現在のシ ストセン



春先のたい肥作業

②取り付けられるのであ 込まれていると聞いてい 防雪柵の取り付けも盛り ①防雪柵は取り付けられ 部連合会が要望していた の事業が盛り込まれ、北 全対策が予算付けされた。 393メープル街道の安 型補正予算で国道 老朽化対策 防雪対策等 る。 知安町瑞穂防雪柵設置外①「一般国道393号俱 建設部に早期設置を要望 北海道開発局、 工区600メートルの防 一連工事」 北部連合会の要望を受け 成がなされた。 緊急対策に基づく予算編 本町として、 本年着工と聞いてい 経済再生に向けた 概要は、 小樽開発 従前から

理由の説明を求める。

施している。

となっているが、残った

80万円の執行残 平成24年度は、

鈴木

瑞穂 として助成してきた。 い肥について、 町長 平成21年度からは、

肥体系転換推進事業とし 度から土づくり推進事業 農業者に対して平成17年 ターで製造されているた 営するたい肥セン JAようていの 導入する 施

> 781トンと活用が進ま 成24年度では、 ない状況にある。 2952トン、 に平成21年度は、 現在の助成体系となっ 成している。 38 名で 1 直近の平

であり、豊かな土壌は農 料と比較して即効性に劣 などがあげられる。 ること、秋の収穫作業の 理由としては、化学肥 土づくりは農業の基本

必要不可欠な資源である。 業を持続的に発展させる たい肥を導入して生産

性の向上を図ることが求 生産資材費の縮減

すい抵抗性品種、 は認識しているので、引い重要な政策であること 向けて農協と協議・検討 男爵イモの生産性向上に はD-D薬剤さらには、 き続き農業者が導入しや には欠かすことのできな シストセンチュウ対策 馬鈴薯の生産性向上 あるい

農協と一緒に継続して実

剤灌注の支援についても 従来より抵抗性 「とうや」の導入 またD‐D薬 きたあ か

ゃ

まちなっ

件の 般質問 盛多 勝美 議員 3

まちなか循環バスの将来に向けての 運行計画はどうなるのか

町長:さらなる利便性や効率性を求めていく

を実施している。 バスを活用した協賛広告 ポーターを立ち上げて、 また、 査などを実施し、 利用者へのアンケート じゃがりん号サ

援をいただかなければ当 の皆さんのご理解とご支 630万円、 250万円、 る。バスの運賃収入は約 0万円の経費が必要であ ん号2台分で年間200 万円については、 成り立つものではな 残り100 国の補助金 町民

さら 対策についての見解を伺 町長

する児童・生徒の増加が 中学校の統合によ 4月から通学



る補助金も終了 実証運行に対す 運行計画を伺う。 したが、将来の の3カ年の



東西ルートのじゃがりん号

らなる安全確保に努める

防犯対策については、

交通安全教育の徹底等さ 啓発パトロールの実施、 指導員の配置場所の改善

寒別橋の補強 画

努める。

画は、

数は、

みである。

同期

町長

通行は可能か。 ①工事の時期と繁忙期の ついて伺う。 寒別橋の補強修繕工事に 年計画で行われる平成25年から3カ

て多くの皆さまに利用い

づくりの一つの手段とし

ただける乗り物を目指す。

交通安全と

防犯対策は

②橋の幅、

重量制限はど

けて、安全・安心の地域

なる利便性や効率性に向

うなるのか。 の改良計画は。 ④橋からの取り付け道路 などの災害対策は、 ③大雨による河川の氾濫

る交通安全と防犯 中学校の統合によ

ら11月を予定して ①工事は、 6月か

町長

通行止めとなる。 ち替えをする必要がある 橋の床板を取り崩 工事期間中は全面 して打

団体と協議しながら交通

倶知安警察署並びに関係

両通行規制をはじめ

いては、 の車

登下校の時間帯

想定される高校通りにつ

ない。 民の人命と資産を守る手 改修を含めた中で地域住 連携を図りながら、河川 ③河川管理者の北海道と を講じていく。

地域の安全確保の強化に回パトロールを実施し、回パトロールを実施し、犯協会、関係機関と連携

除になるが、 ②現在の15トン制限が解 のグレードアップは行わ 橋の拡幅等 ては、 道路の線形の改良につい 取り付け道路の改良

便をかけることになるが用者には、通行止め等不 3カ年ということで、 確定した時点で地域説明補助金が決定し、内容が 協力いただきたい。 の間地域の方々そして利 会を行うが、工事期間 整備交付金で行うので、 この工事は、 行う予定はない。 社会資本 そが



補強修繕工事が行われる寒別橋